



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年7月10日

上場会社名 株式会社フライヤー 上場取引所 東
 コード番号 323A URL https://www.flierinc.com
 代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 大賀 康史
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 望月 剛（TEL）03(6212)5115
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第1四半期の業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-----|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年2月期第1四半期 | 245 | — | 16 | — | 15 | — | 15 | — |
| 2025年2月期第1四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年2月期第1四半期 | 4.40 | 3.91 |
| 2025年2月期第1四半期 | — | — |

（注） 当社は、2025年2月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2025年2月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2026年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-----|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年2月期第1四半期 | 694 | 303 | 43.6 |
| 2025年2月期 | 591 | 226 | 38.3 |

（参考）自己資本 2026年2月期第1四半期 303百万円 2025年2月期 226百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年2月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2026年2月期 | — | — | — | — | — |
| 2026年2月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,120 | 18.1 | 100 | — | 99 | — | 98 | 793.1 | 28.85 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 2026年2月期1Q | 3,417,260株 | 2025年2月期 | 3,318,760株 |
| 2026年2月期1Q | —株 | 2025年2月期 | —株 |
| 2026年2月期1Q | 3,417,260株 | 2025年2月期1Q | —株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は、2025年2月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2025年2月期第1四半期の期中平均株式数を記載していません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 7 |

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

文章中の将来に関する事項は、当第1四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。また、当社は、2025年2月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

当第1四半期累計期間は、海外経済の減速懸念や地政学的緊張、さらに世界的な高金利の継続といった国際情勢の強い影響等から、依然として不透明かつ不安定な状況にありました。このような環境下にあっても、情報通信業界におきましては、DX(デジタルトランスフォーメーション)のさらなる深化や生成AI技術の急速な進化と社会実装等のトレンドから、インターネットを通じたサービスを活用するSaaS(Software as a Service)の市場は堅調な成長を継続しています。加えて、人的資本経営の取り組みは上場企業を中心に一層加速しており、幅広い企業で人材育成への投資意欲が高まっています。

このような状況のもと、各企業における人材育成投資トレンドが堅調に推移しており、当社の当第1四半期累計期間の売上高は245,231千円となりました。なお、一部企業においては、従業員に対する学習機会の提供方法の見直し等を背景にダウンセルが発生している案件もございます。

しかしながら、解約率は依然1%水準を維持しており、さらに、既出のとおりSaaS市場の堅調な成長と人的資本経営への注目の高まりに起因する人材育成投資活発化の環境は、当社のエンタープライズ向け事業にとって引き続き追い風となっています。当社は、これらの市場の構造的変化を捉え、お客様のニーズに合致したサービス提供を強化することで、中長期的には安定した成長基盤を再構築できるものと考えております。

セグメント別の売上高及び利益については、下記の通りとなっております。

エンタープライズ事業セグメント：前事業年度に引き続き、人材育成および人的資本経営のニーズがより強い従業員500名以上の大企業へ注力しており、開発においても法人向け機能の地道な改善活動を重ねることで、利用企業数及び利用規模の拡大の基盤を整えて参りました。当第1四半期累計期間におけるセグメント売上高は178,072千円、セグメント利益は84,374千円となっております。

コンシューマ事業セグメント：リスクリング及びタイムパフォーマンス(学習時間の効率化)の高いニーズが継続しており、細かな機能改善によりユーザの利用価値向上に努めるとともに、コミュニティ事業においては安定的な売上を実現しております。また、前事業年度から新たな収益源として取組んでいるYouTubeを介した広告事業も順調な事業成長を実現しています。このような背景から、当第1四半期累計期間におけるセグメント売上高は67,159千円、セグメント利益は26,711千円となっております。

エンジニアの開発効率の改善やコンテンツ編集体制の効率化を行うことにより費用増加を抑制し、売上原価は47,672千円、売上総利益は197,558千円となっております。

また、さらなる事業成長に向けた人件費・マーケティングへの一定の投資強化と筋肉質なコスト構造を実現するための効率化を両立した結果、販売費及び一般管理費は180,907千円、営業利益は16,651千円、経常利益は15,719千円、四半期純利益は15,050千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は609,129千円となり、前事業年度末に比べ101,664千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が92,214千円、前払費用が10,734千円増加したことによるものであります。固定資産は85,621千円となり、前事業年度末に比べ1,800千円増加いたしました。この結果、総資産は694,751千円となり、前事業年度末に比べ103,465千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は277,080千円となり前事業年度末に比べ28,293千円増加しました。これは主に未払費用が42,166千円、契約負債が23,329千円増加した一方、賞与引当金が20,043千円、未払消費税等が10,837千円減少したことによるものであります。固定負債は114,500千円となり前事業年度末に比べ1,500千円減少しました。これは長期借入金が減少したことによるものであります。この結果、負債は391,580千円となり、前事業年度末に比べ26,793千円増加しました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は303,170千円となり、前事業年度末に比べ76,671千円増加いたしました。これは資本金及び資本剰余金がそれぞれ30,810千円、利益剰余金が15,050千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、期初時点の見通しから変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2025年2月28日) | 当第1四半期会計期間 (2025年5月31日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 425,913 | 518,127 |
| 売掛金 | 55,986 | 54,456 |
| 前払費用 | 25,517 | 36,252 |
| その他 | 376 | 464 |
| 貸倒引当金 | △329 | △171 |
| 流動資産合計 | 507,464 | 609,129 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 34,158 | 34,158 |
| 減価償却累計額 | △8,945 | △9,713 |
| 建物(純額) | 25,212 | 24,444 |
| 工具、器具及び備品 | 19,658 | 19,966 |
| 減価償却累計額 | △10,924 | △11,369 |
| 減損損失累計額 | △1,712 | △1,712 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 7,021 | 6,884 |
| 有形固定資産合計 | 32,233 | 31,329 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金 | 39,742 | 39,389 |
| 長期前払費用 | 413 | 354 |
| 繰延税金資産 | 11,430 | 14,547 |
| 投資その他の資産合計 | 51,586 | 54,291 |
| 固定資産合計 | 83,820 | 85,621 |
| 資産合計 | 591,285 | 694,751 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 142 | 895 |
| 短期借入金 | 50,000 | 50,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 10,174 | 6,500 |
| 未払金 | 28,556 | 28,299 |
| 未払費用 | 6,812 | 48,979 |
| 未払法人税等 | 9,104 | 6,756 |
| 未払消費税等 | 24,889 | 14,052 |
| 契約負債 | 94,529 | 117,859 |
| 預り金 | 3,074 | 3,373 |
| 賞与引当金 | 20,043 | — |
| その他 | 1,459 | 364 |
| 流動負債合計 | 248,786 | 277,080 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 116,000 | 114,500 |
| 固定負債合計 | 116,000 | 114,500 |
| 負債合計 | 364,786 | 391,580 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2025年2月28日) | 当第1四半期会計期間 (2025年5月31日) |
|---------|-----------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 583,805 | 614,616 |
| 資本剰余金 | 562,805 | 593,616 |
| 利益剰余金 | △920,112 | △905,062 |
| 株主資本合計 | 226,499 | 303,170 |
| 純資産合計 | 226,499 | 303,170 |
| 負債純資産合計 | 591,285 | 694,751 |

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

| | 当第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 245,231 |
| 売上原価 | 47,672 |
| 売上総利益 | 197,558 |
| 販売費及び一般管理費 | 180,907 |
| 営業利益 | 16,651 |
| 営業外収益 | |
| ポイント還元収入 | 107 |
| その他 | 2 |
| 営業外収益合計 | 110 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 376 |
| 株式交付費 | 665 |
| 営業外費用合計 | 1,042 |
| 経常利益 | 15,719 |
| 税引前四半期純利益 | 15,719 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,786 |
| 法人税等調整額 | △3,117 |
| 法人税等合計 | 669 |
| 四半期純利益 | 15,050 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月20日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2025年3月25日を払込期日とする有償第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売り出しに関連した第三者割当増資)による新株式98,500株の発行により、資本金及び資本準備金はそれぞれ30,810千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が614,616千円、資本剰余金が593,616千円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用) 「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2025年3月1日至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額(注)1 | 四半期損益計算書計上額(注)2 |
|-------------------|------------|----------|---------|---------|-----------------|
| | エンタープライズ事業 | コンシューマ事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 178,072 | 67,159 | 245,231 | — | 245,231 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 178,072 | 67,159 | 245,231 | — | 245,231 |
| セグメント利益 | 84,374 | 26,711 | 111,086 | △94,434 | 16,651 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 当第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日) |
|-------|---|
| 減価償却費 | 1,212千円 |